

平成26年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年9月5日  
東

上場会社名 エイケン工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 7265 URL http://www.eiken-kk.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早馬 義光  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役工場長兼 (氏名) 池田 文明 (TEL) 0537-86-3105  
 総務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年9月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年10月期第3四半期の業績(平成25年11月1日～平成26年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年10月期第3四半期	3,778	7.6	206	30.7	220	26.2	144	18.9
25年10月期第3四半期	3,510	△1.7	158	3.6	174	8.0	121	15.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年10月期第3四半期	28.70		—					
25年10月期第3四半期	23.74		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年10月期第3四半期	5,005	3,718	74.3
25年10月期	4,876	3,631	74.5

(参考) 自己資本 26年10月期第3四半期 3,718百万円 25年10月期 3,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年10月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年10月期	—	0.00	—		
26年10月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年10月期の業績予想(平成25年11月1日～平成26年10月31日)

業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,820	1.8	261	8.8	281	4.4	177	△6.1	35.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年10月期3Q	7,200,000株	25年10月期	7,200,000株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

26年10月期3Q	2,182,226株	25年10月期	2,181,726株
-----------	------------	---------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年10月期3Q	5,017,997株	25年10月期3Q	5,099,760株
-----------	------------	-----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中でありま

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済政策及び日銀の金融政策により、円安・株高傾向が続き、企業業績の改善、雇用情勢の回復により、緩やかな景気回復の兆しがみられましたが、原材料価格・燃料価格の高騰、電気料金の値上げ、海外の政情不安及び消費増税による影響等、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

こうした状況のなかで、当社が属しております市販メーカーにおいては、カーディーラーでの交換頻度が増えていること及びガソリンスタンドのセルフ化の影響を受けて厳しい状況になっているなかで、海外からの安価な商品の流入等、当社を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増しましたが、高性能オイルフィルター及び大型車用フィルターの拡販、円安を追い風に輸出拡大に注力しました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績については、売上高は、前年同四半期に比べ2億67百万円増加し、37億78百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益は、前年同四半期に比べ48百万円増加し、2億6百万円（前年同四半期比30.7%増）、経常利益は、前年同四半期に比べ45百万円増加し、2億20百万円（前年同四半期比26.2%増）、四半期純利益は、前年同四半期に比べ22百万円増加し、1億44百万円（前年同四半期比18.9%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

(フィルター部門)

売上高に関しては、国内売上は同業者向け及びカーショップ向けは減少しましたが、商社向けが増加しました。輸出売上はヨーロッパ及び東南アジア向けが増加しました。営業利益に関しては、売上高が増加したことが要因となり増加しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ2億77百万円増加し、35億68百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益は、前年同四半期に比べ68百万円増加し、3億46百万円（前年同四半期比24.6%増）となりました。

(燃焼機器部門)

売上高に関しては、フライヤーや茹で麺器で使用する熱交換器及びバーナ部品の売上が減少しました。営業利益に関しては、売上高が減少したこと及び人件費が増加したことが要因となり減少しました。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ9百万円減少し、2億9百万円（前年同四半期比4.3%減）、営業利益は、前年同四半期に比べ22百万円減少し、18百万円（前年同四半期比54.4%減）となりました。

(その他)

車載用加湿器、ティッシュケース及び縦型灰皿等の販売をしております。

その結果、売上高は前年同四半期に比べ24万円減少し、48万円（前年同四半期比33.6%減）、営業損失は1百万円（前年同四半期は営業損失2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて1億40百万円増加し、28億27百万円(前事業年度末比5.2%増)となりました。主な要因は、現金及び預金が15百万円、受取手形及び売掛金が1億15百万円、原材料及び貯蔵品が17百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べて11百万円減少し、21億77百万円(前事業年度末比0.5%減)となりました。主な要因は、建物が39百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末と比べて1億28百万円増加し、50億5百万円(前事業年度末比2.6%増)となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べて42百万円増加し、10億90百万円(前事業年度末比4.0%増)となりました。主な要因は、短期借入金が40百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が22百万円、賞与引当金が51百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末と比べて4百万円増加し、1億96百万円(前事業年度末比0.0%増)となりました。主な要因は、繰延税金負債が6百万円及びリース債務が5百万円減少したものの、退職給付引当金が12百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比べて42百万円増加し、12億86百万円(前事業年度末比3.4%増)となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べて86百万円増加し、37億18百万円(前事業年度末比2.4%増)となりました。主な要因は、利益剰余金が83百万円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月期の業績予想に関する事項につきましては、平成25年12月10日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年10月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	765,725	781,144
受取手形及び売掛金	1,141,592	1,256,995
電子記録債権	40,573	40,349
商品及び製品	497,863	498,683
仕掛品	34,848	31,650
原材料及び貯蔵品	148,625	165,824
その他	58,598	54,089
貸倒引当金	△1,204	△1,303
流動資産合計	2,686,622	2,827,434
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	842,307	802,656
その他(純額)	945,613	952,579
有形固定資産合計	1,787,920	1,755,235
無形固定資産		
	5,180	3,404
投資その他の資産		
その他	397,389	420,087
貸倒引当金	△778	△951
投資その他の資産合計	396,611	419,136
固定資産合計	2,189,713	2,177,776
資産合計	4,876,335	5,005,211

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年10月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	235,659	257,958
短期借入金	530,000	490,000
未払法人税等	80,015	66,655
賞与引当金	24,907	76,500
その他	177,330	199,227
流動負債合計	1,047,912	1,090,341
固定負債		
退職給付引当金	119,297	131,503
役員退職慰労引当金	4,386	4,386
資産除去債務	10,173	10,173
その他	62,567	50,409
固定負債合計	196,425	196,472
負債合計	1,244,338	1,286,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,800	601,800
資本剰余金	389,764	389,764
利益剰余金	3,569,331	3,653,160
自己株式	△962,504	△962,708
株主資本合計	3,598,392	3,682,016
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,604	36,381
評価・換算差額等合計	33,604	36,381
純資産合計	3,631,996	3,718,397
負債純資産合計	4,876,335	5,005,211

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年11月1日 至平成26年7月31日)
売上高	3,510,839	3,778,235
売上原価	2,955,752	3,148,267
売上総利益	555,086	629,968
販売費及び一般管理費	396,767	423,034
営業利益	158,319	206,933
営業外収益		
受取利息	541	278
受取配当金	5,343	5,178
受取賃貸料	10,575	11,098
その他	6,061	1,983
営業外収益合計	22,521	18,540
営業外費用		
支払利息	3,110	2,331
売上割引	2,755	2,509
その他	321	262
営業外費用合計	6,186	5,104
経常利益	174,653	220,369
特別利益		
固定資産売却益	273	211
投資有価証券売却益	802	—
補助金収入	9,044	14,966
保険解約返戻金	8,545	3,900
特別利益合計	18,665	19,078
特別損失		
固定資産除却損	999	214
特別損失合計	999	214
税引前四半期純利益	192,319	239,232
法人税、住民税及び事業税	102,223	122,746
法人税等調整額	△31,007	△27,561
法人税等合計	71,215	95,185
四半期純利益	121,104	144,047

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期累計期間(自平成25年11月1日至平成26年7月31日)  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自平成25年11月1日至平成26年7月31日)  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期累計期間(自平成25年11月1日至平成26年7月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	フィルター 部門	燃焼機器 部門	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,568,454	209,296	3,777,751	483	3,778,235	—	3,778,235
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,568,454	209,296	3,777,751	483	3,778,235	—	3,778,235
セグメント利益 又は損失(△)	346,305	18,783	365,088	△ 1,295	363,793	△156,859	206,933

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に総務部等管理部門の一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以上